2　寒天ゲル内沈降反応検査の場合

一　精製寒天〇・八g、アジ化ナトリウム〇・一g及び生理食塩液一〇〇cの比率で混合し、加熱溶解したものを、透明なガラス平板上におおむね厚さ三ミリメートルとなるように注ぎ、凝固させ寒天平板とした後、直径五ミリメートルの穴を一個あけ、その周りに三ミリメートルの等間隔で直径五ミリメートルの穴を六個あけること。

二　寒天平板にあけられた七個の穴のうち中心の穴に馬伝染性貧血診断用寒天ゲル内沈降反応抗原（以下「抗原」という。）、周辺の六個の穴のうち二個の穴（二個の穴の位置は、中心の穴をはさんで対面する位置とする。）に指示血清、他の四個の穴一個につき一頭の被検馬血清（以下「血清」という。）をそれぞれ充満した後、二十四時間から九十六時間の間湿度を保ちながら常温で反応させ、抗原と血清との間に現れる沈降線の有無により判定すること。

三　寒天ゲル内沈降反応検査の判定は次により行うこと。

イ　抗原と血清との間に、抗原と指示血清との間に生じた沈降線

一　エライザ法による検査の結果が陰性のもの

二　1及び2に該当しないもの

三　馬伝染性貧血の疑似患畜についての再検査の結果、いずれの希釈倍率においても陽性でないもの